

木田市長の

どろんと
コミュニケーション



みんなでサントバーバラへ

行きましょう！

Vol.114

今年もサントバーバラから4人の中学生の皆さんが鳥羽へやってきました。もう24回にもなる鳥羽とサントバーバラの交流事業です。毎年こちらからサントバーバラへ向かう若者たちや、サントバーバラから鳥羽へやってくる若者たちに会って話をしますが、みんなそれぞれに個性があつて良い子たちばかりです。若い時にこのような経験をした人は、将来海外に雄飛する確率が高くなるんだろうなと思います。彼らの話を聞いてみると、自分が使った英語が相手に通じるととてもうれしいということ、よく言います。

ちよつと言い過ぎかもしれませんが、利用しなければ英語の勉強はただ苦痛でしかありません。覚えた言葉が相手に

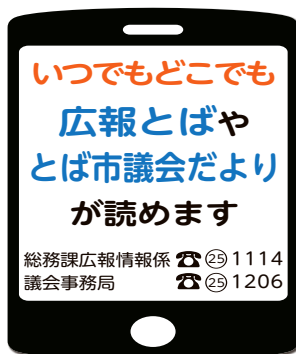
通じてはじめて、他国の言葉を覚える喜びというものが大きくなってくるように思います。

日本人は多くの人が10年近くの間、英語の勉強をします。しかし自由に英語を使える人は少ないのが現状です。そういう現状を打破する意味でも、英語を話す喜びを得るという意味でも、この交流事業は価値あるものだと思います。他市の市民からは、鳥羽は市費でアメリカへ送つてもらえていいなあと言われています。ところが現実には、サントバーバラへの派遣事業に対する応募者が大変少ない状況です。中学生の皆さんもクラブ活動や勉強で忙しいのでしよう。また送り出す家庭の方、送り出したのは良いが、

その後サントバーバラの子供を受け入れなければならぬから大変だと考えるのでしよう。確かに大変でしょう。しかし受け入れの義務ではなく、文化も何もかも違う人間と接するチャンスだと思えば、受け入れ自体が楽しみに変わると思います。おまけに大事な子供たちが英語を勉強する喜びに目覚めるとすれば、言うことなしです。

来年は鳥羽とサントバーバラの姉妹提携50周年を迎えます。そのイベントとして、今年11月にはサントバーバラから市長はじめ多くの訪問団の皆さんが、鳥羽を訪れます。そして、来年には50周年を祝う式典がサントバーバラにて行われる予定です。この時の訪問団にはできるだけ多くの市民の皆さんに参加していただきたいと考えています。おそらく訪問時期は、伊勢志摩サミットの件もあり、秋になるかと思われませんが、参加可能な方は、今から計画を立てておいてほしいと思います。

先人が築いてくれた両市の関係を大切に、今後の子供たちの未来を明るく開けたものにするために、交流を続けたいと思います。



i広報紙で配信

市では、スマートフォン・タブレット端末用アプリ「i広報紙」による広報とばの配信を8月1日号から開始しました。また市議会では、2月1日〜7月31日まで、同アプリによる試験配信を行ってきましたが、とば市議会だより8月1日号から本配信に移行しました。

スマホやタブレットで

i広報紙による配信で、これまでの紙面だけでなく、スマートフォンやタブレットなどいつでもどこでも簡単に広報とばやとば市議会だよりを読むことができるようになりました。

アプリ「i広報紙」の特徴

- ・ 利用料無料
- ・ スワイプ操作で、あたかも書籍のページをめくるような

感覚

- ・ 最新号発行をプッシュ通知でお知らせ
- ・ 市外在住者でも広報とばやとば市議会だよりが読める

閲覧方法

① App storeやGoogle Playで「i広報紙」と検索してインストールしていただくか、次のQRコードを読み取りインストールしてください。



② アプリをインストールし、簡単な個人設定（性別・生年月・お住いの地域など）を行っていただくことで使用できます。

注意してください

- ・ アプリのインストールや広報の閲覧には、別途通信費用がかかります
- ・ アプリ閲覧中に広告が表示されますが、その内容に鳥羽市は一切責任を負いません。